

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
赤門鍼灸柔整 専門学校	昭和54年 3月26日	坂本 正憲	980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉33番地の1 (電話) 022-222-8349			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 赤門宏志学院	平成25年 3月1日	坂本 正憲	980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉33番地の1 (電話) 022-222-8349			
目 的	基礎医学を基本とした東洋医学の知識と技術を深く教授し、その知識と技術と知識の練達を計り、高い人格をともなった有為医療人を養成し、国民の健康福祉に貢献するとともに、東洋医学を普及して社会の進展に寄与することを使命とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
医療	医療専門課程	鍼灸科第一部	3年(昼)	2505単位時間 (96単位)	平成23年文部科学 省告示第166号	-
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1620単位時間 (67単位)	120単位時間 (6単位)	-	45単位時間 (1単位)	660単位時間 (22単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人	16人	11人	13人	24人		
学期制度	■前期：4月1日～9月8日 ■後期：9月9日～3月31日			成績評価	■成績表 <input checked="" type="radio"/> 有・無) ■成績評価の基準・方法について 定期試験の成績及び平常の学習成績に基いて行う。	
長期休み	■学年始め：4月1日～4月6日 ■夏 季：8月7日～8月26日 ■冬 季：12月25日～1月6日 ■学 年 末：3月9日～3月31日			卒業・進級条件	第1学年、第2学年及び第3学年を修了したとき当該学年の授業科目の単位を認定し進級・卒業させる。所定科目をすべて履修した者について卒業を認定する。	
生徒指導	■クラス担任制 <input checked="" type="radio"/> 有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 担任による面談を重ね、保護者保証人連携を取る。			課外活動	■課外活動の種類 学友会、赤十字奉仕団 ■サークル活動 <input checked="" type="radio"/> 有・無)	

就職等の状況	■主な就職先、業界等 鍼灸治療院、医療機関、介護施設等 ■就職率※1 100.0% ■卒業者に占める就職者の割合※2 66.7% ■その他（任意） （平成28年度卒業者の平成29年5月時点の情報）	主な資格・検定	はり師国家試験受験資格 きゅう師国家試験受験資格
中途退学の現状	■中途退学者 3名 ■中退率 10.3% 平成28年5月1日在学者 29名（平成28年4月入学者を含む） 平成29年3月31日在学者 26名（平成29年3月卒業生を含む） ■中途退学の主な理由 成績不良、経済的理由 ■中退防止のための取組 補習教育を行い、成績向上に努めている。成績不良者に対しては、勉強方法や日常生活について個別的に指導。更に本人、担任及び保護者の3者面談により指導。進級・卒業が認定されないときは留年。6年間在籍できるが、経済的理由で留年できない者がいる。		
ホームページ	URL: http://www.akamon.ac.jp/		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携した教育課程編成委員会を組織し、定期的に会合を開き意見交換等を行いより実践的でかつ専門的に社会で求められる医療人を育成することに教育目標をおき教育課程を編成する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 29 年 5 月 1 日現在

名 前	所 属
佐々木 弘毅	希望館佐々木接骨院 デイ・イ・ビス・アミーゴ 公益社団法人宮城県柔道整復師会会員
宗形 明子	ホテル飛天治療院 一般社団法人日本東洋医学会会員
松田 栄金	孫栄金鍼灸治療院 NPO 法人全国鍼灸マッサージ協会会員
小松 祐司	小松接骨院 公益社団法人宮城県柔道整復師会会員
大坂 武史	大坂接骨院 公益社団法人宮城県柔道整復師会会員
今野 正弘	はりきゅう資生堂・今野接骨院 公益社団法人宮城県鍼灸師会理事
坂本 正憲	赤門鍼灸柔整専門学校 校長
長岡 靖彦	赤門鍼灸柔整専門学校 総務主任
高橋 武彦	赤門鍼灸柔整専門学校 教務主任
煙山 貴之	赤門鍼灸柔整専門学校 専任教員

(開催日時)

第1回 平成 29 年 9 月 8 日 15:00~17:00 (予定)

第2回 平成 30 年 1 月 26 日 15:00~17:00 (予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等からの教員は、関係法令のきいていによりすべて教員は有資格者であること、また学校に来て実技・演習等を担当することになっている。学年開始前に研修会を実施し綿密に打合せを行い、実技・演習等の科目を担当する。最終的に第3学年に実施する実技認定試験(外部関係者による学習評価)に対応できるように目標をおき、指導が行なわれる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
手技療法Ⅱ	鍼灸施術に伴う前揉捏、後揉捏等の手技についてその方法・感覚を習得する。	かかず整形外科(職員) 岡本栄子
鍼灸応用実技Ⅰ	西洋医学的視点から、診察と治療方針の立て方並びに施術方法を習得する。	亀井接骨鍼灸治療院 亀井 啓
鍼灸応用実技Ⅲ	各部位の経穴に対して適切な刺鍼・施灸方法を習得する。	一番町治療院 宮田正則
鍼灸臨床実技Ⅲ	一般的な鍼灸施術の流れについて、接遇と基本技術を中心に確認・習得する。	太子堂鍼灸整骨院 小関 祐介
東洋医学臨床論Ⅲ	スポーツ障害と身体能力向上に対する鍼灸によるアプローチについて学習・検討する。	亀井接骨鍼灸治療院 亀井 啓

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

就業規則第 54 条第 1 項で「各種の講習会に参加させる」、同第 2 項で「正当な理由がなくこれを拒んではならない」と規定し、積極的に研修会、学術大会に参加し、資質の向上に務める。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年5月1日現在

名 前	所 属
加藤 武司	高等学校関係 前明成高等学校校長
宗形 明子	卒業者関係 昭和59年度鍼灸指圧科卒業 ホテル飛天治療院 薬剤師
押切 悦男	学識経験者 税理士
横山 光太郎	地域関係 仙台市青葉区八幡5区町内会役員
種村 正昭	保護者関係 中山鍼灸接骨院院長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.akamon.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.akamon.ac.jp/>

授業科目等の概要

(医療専門課程 鍼灸科第一部) 平成29年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			漢文学	基本構文を修得し、専門的漢文(医古文)の読解を行う。	2・通	60	4		○	
○			心理学	カウンセリングを主な内容とする臨床心理学を学習する。	2・通	60	4	○		
○			社会学	現代社会の諸問題について学習する。	2・後	30	2	○		
○			自然科学概論	自然科学の発展の諸問題について学習する。	1・通	60	4	○		
○			中国語	発音(ピンインを含む)と基本構文を修得する。短文の読解力を身に付ける。	1・通	60	4	○	△	
○			解剖学Ⅰ	人体の構成、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系について学習する。	1・通	60	2	○		
○			解剖学Ⅱ	人体の生殖器系、内分泌系、神経系、感覚器系の構造について学習する。	1・通	60	2	○		
○			解剖学Ⅲ	人体の運動器系の構造について学習する。	1・通	60	2	○		
○			生理学Ⅰ	人体の生命現象の機序のうち、基礎、循環、呼吸、消化・吸収、栄養代謝、体温、排泄、恒常性の維持について学習する。	1・通	60	2	○		

○		生理学Ⅱ	人体の生命現象の機序のうち、内分泌、生殖、神経、筋、運動、感覚、生体防御について学習する。	1・通	60	2	○		
○		解剖生理学	解剖学および生理学について、実習・実験も取り入れて、人体の構造・機能をより深く学習する。	2・前	30	1	○		
○		運動学	身体運動の発現機序について、解剖学、生理学、生体力学の面から学習する。	2・通	60	2	○		
○		衛生学・公衆衛生学	疾病予防と健康の保持・増進に影響を与える要因について学習する。	1・通	60	2	○		
○		病理学概論	病気および病的状態の本質の概要を学習する。	2・通	60	2	○		
○		臨床医学総論	鍼灸師に必要な西洋臨床医学における診察法・検査法・治療法等の知識について学習する。	2・通	60	2	○		
○		臨床医学各論Ⅰ	鍼灸師に必要な西洋臨床医学の知識（特に内科系疾患）について学習する。	2・通	60	2	○		
○		臨床医学各論Ⅱ	鍼灸師に必要な西洋臨床医学の知識（特に運動器系疾患）について学習する。	3・通	60	2	○		
○		リハビリテーション医学	医学的リハビリテーションの概要と各疾患のリハビリテーションを学習する。	3・通	60	2	○		
○		医療概論	医療の歴史、現代医療の諸問題、医療倫理について学習する。	1・通	60	2	○		
○		関係法規	鍼灸師の法令および医療に関する法令等を学習する。	3・通	60	2	○		
○		東洋医学概論	東洋医学の基礎理論および人体の考え方について学習する。	1・通	60	4	○		

○		経絡経穴概論	経絡経穴の基礎、経穴の部位について学習する。	1・通	60	4	○		
○		鍼灸理論	鍼灸の基礎知識、治効に関する基礎と理論・学説、リスク管理等について学習する。	3・通	60	4	○		
○		東洋医学各論Ⅰ	東洋医学の疾病感および診断論について学習する。	2・通	60	2	○		
○		東洋医学各論Ⅱ	東洋医学の治療論を学習し、東洋医学について総括的に学習する。	3・通	60	2	○		
○		臨床経穴論	経穴と神経・筋・血管との関係、経穴の主治について学習する。	2・通	60	2	○		
○		東洋医学臨床論Ⅰ	症候（内科系疾患等）に対する東西両医学からのアプローチについて学習する。	3・通	60	2	○		
○		東洋医学臨床論Ⅱ	症候（運動器系疾患や全身症状等）に対する東西両医学からのアプローチについて学習する。	3・通	60	2	○		
○		東洋医学臨床論Ⅲ	スポーツ傷害と身体能力向上に対する鍼灸によるアプローチについて学習・検討する。	3・通	60	2		○	
○		東洋医学応用概論	鍼灸師を取り巻く環境、現代社会における役割等について学習する。	3・通	60	2	○		
○		鍼灸基礎実技	鍼灸の基本手技および手足の主要経穴への刺鍼を習得する。	1・通	90	3			○
○		鍼灸応用実技	西洋医学的および東洋医学的見地からの鍼灸施術の基本並びに全身の経穴への刺鍼・施灸方法を習得する。	2・通	210	7			○
○		鍼灸臨床実技	鍼灸の治療対象となる主要疾患について、診察から治療までを修得する。	3・通	240	8			○

○			手技療法Ⅰ	鍼施術に伴う前揉捏・後揉捏等の手技について、その方法・感覚を修得する。	1・通	60	2			○
○			手技療法Ⅱ	刺鍼・施灸部位(経穴)の硬結などの感触を手技を通して修得する。	2・通	60	2			○
○			臨床実習	付属臨床所に実習施設において、指導教員のもと、患者対応・診察、治療を通じて臨床能力を修得する。	3・通	45	1			○
合計					36科目	2445単位時間(96単位)				